

平成30年度 学校経営方針

建学の精神と教育方針

本校は、学校法人昭和薬科大学が、太平洋戦争の戦禍を受けた沖縄県に私学の特色ある教育を通して人材育成に貢献したいという主旨で設立した学校である。

本校の教育方針は、その<建学の精神>に基づき、中学校・高等学校の教育を一貫して施し、活気に満ち、逞しく、情操豊かな人格を持った社会に有為な人材を育成することである。

品格ある進学校

本校は、特色ある私立学校として生徒が本校で学んだことに誇りと喜びを持ち、有為な人材育成を図る本校の教育実践が社会から評価される<品格ある進学校>づくりを推進する。

本校の教育実践

【1】教科教育の徹底

1. 対話的・主体的で深い学びの授業作りに努め、生徒の主体的な学習参加を促す。
2. 新たに導入した電子黒板の積極的な活用を促し、ICT教育の環境整備を進める。
3. 教科指導の充実とより質の高い授業の展開に資するため、教科内会議を深める。
4. 中・高一貫教育のシラバスを明確にし、カリキュラムマネジメントを徹底する。
5. スタディサプリ等のアプリ等を有効活用し、生徒一人一人の学習の深度を図る。
6. 難関大学合格に資する授業力の向上に努めるとともに講座体制の充実をはかる。
7. 年間授業数の可及的増大をはかり、学習の量を拡大する。
8. 取りこぼしのない授業展開をはかり、補講体制の充実に努める。

【2】進路指導の充実

1. 卒業生の入試結果や最新の入試情報を踏まえ、大学受験の最大限の支援体制を図る。
2. 大学関係者による講演会や大学訪問プログラムを通して進路選択の幅の拡大を図る。
3. 東大・京大等の難関大及び医学科に特化した対策を行い合格実績の向上に努める。
4. 学年会による模試検討会を実施し生徒の志望校分析を行い現役合格率の向上を図る。
5. 夏期休業中に多様な分野の特別講座を開講し新テストに向けて探求活動を支援する。

【3】生徒指導の指針

1. 「品格あるリーディングスクール」に相応しい本校生徒としての規範意識を醸成する。
2. 生徒指導に係る様々な問題に対して迅速かつ丁寧な対応をはかる。
3. 各学年担当者を配置し担任会と連携して学年集会等を積極的にを行い予防的指導にも注力する。
4. 様々な調査等を行い、いじめ防止対策委員会を中心に全職員体制で、いじめを絶対に「しない、させない、許さない」環境作りをはかる。

一附属高等学校・中学校一

県下随一の進学校としての更なる充実・発展

1. 体育館建替事業を始動

築40年以上を経過する第一体育館の建替に向けて、設計・企画・管理及び建築施工業者等を選定し、格式高い体育館の建設を目指す。

2. 県内随一の進学校としての更なる充実・発展

附属校の建学の精神に則り、教職員・生徒・保護者等が一体となって、大学進学のための更なる充実を目指して、中高一貫教育体制の再点検を行う。

3. ICT体制の整備・充実に向けての研究

新たに導入される電子黒板の有効活用に向けて、教職員の研修体制を充実させるとともに校内研究委員会を更に機能化させて、ICT体制の整備・充実を図る。